

2019年度版

働きながら学べる

 武庫川女子大学


Est.1939
Mukogawa

武庫川女子大学大学院

看護学研究科 看護学専攻

男女
共学



修士課程

- 看護学研究コース
- 看護学研究保健師コース
(保健師国家試験受験資格取得コース)

博士後期課程

看護の質を向上させる 思考力・研究力を育てる大学院



大学院に進学したいと思っておられる看護職の方々、こんにちは。

武庫川女子大学大学院看護学研究科は、2015年4月開設の修士課程と、2017年4月開設の博士後期課程で構成されています。

本看護学研究科の特色は、現職看護職のキャリアアップを目指していること、保健師養成を修士課程にし、保健施策の企画力を育成すること、実践現場や教育機関で教育研究能力を発揮できる人材の育成を目指していることです。

現職看護職のキャリアアップを目指したのは、臨床の看護職の質を上げ、核になる人を育成したいという思いからです。院生は、臨床での問題点を解明することを研究課題にし、修士論文を作成する過程を通して、臨床での問題解決方法を学びます。これにより臨床での「経験知」を「理論知」に変えていくことができます。

保健師養成を修士課程にしましたのは、質の高い教育を受けた院生を行政の保健衛生部門に送り、保健師活動の質を上げていきたいと考えたからです。2018年度現在、保健師を修士課程で教育しているのは国公立大学8校、私立大学5校だけです。その1校が本研究科です。また、博士後期課程では、思考力と研究力をつけて教育や看護実践現場での指導者として、看護学となる理論を打ち立てる原動力となってもらいたいと思っています。このような大学院教育が展開できれば、臨床と教育との有機的なつながりが生まれ、互いに切磋琢磨して看護の質が上がるというストーリーを私たちは描いています。

大学院でも総合大学の強みを生かして他研究科の講義を受けて視野を広げ、看護学研究科でも広い見地から看護学を見つめ直し、気づかなかったり、忘れていたりしたことを再考して、自分の求める課題に取り組んでいけるようなカリキュラムを組んでいます。大学院生を教育し、指導・助言する教員も、同じ意志を持っており、その資質と能力をフルに発揮します。

本研究科では快適な学習研究環境を整え、皆様をお待ちしています。

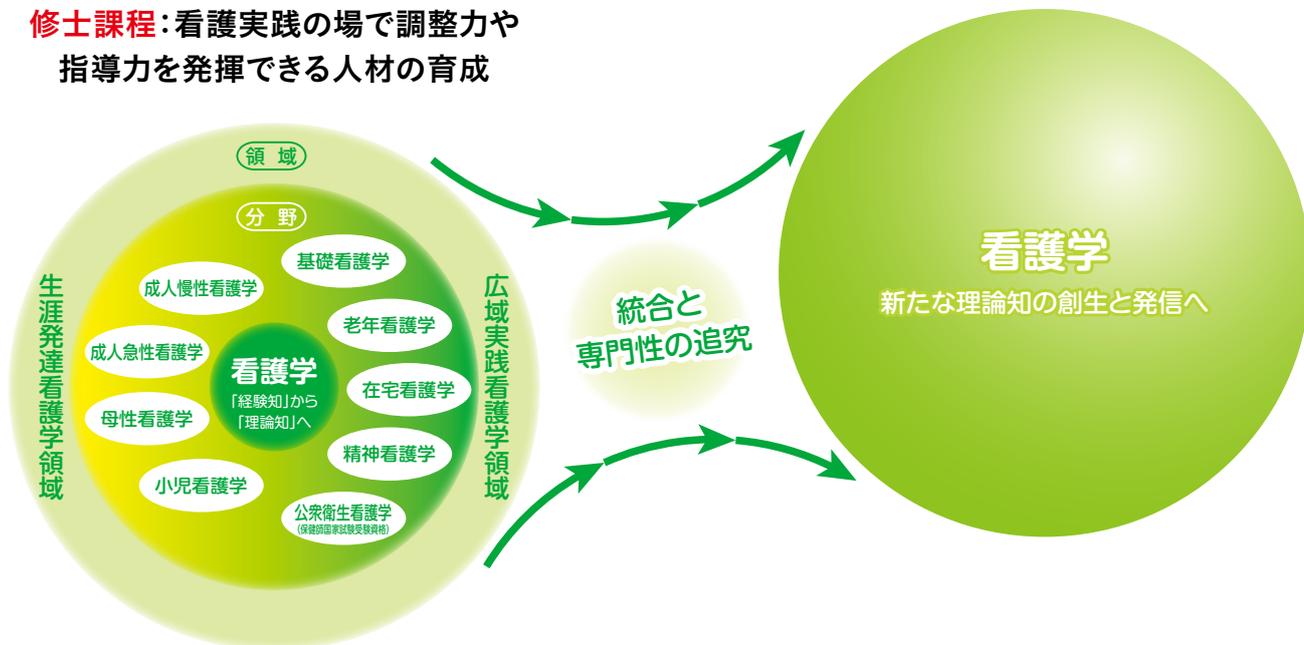
あそ ようこ
阿曾 洋子 研究科長

博士(医学)。保健師として7年のキャリアを積んだ後、母校でもある大阪大学医療技術短期大学部(当時)にて、基礎看護学の教育に取り組む。神戸市立看護短期大学助教授、大阪大学医療技術短期大学部助教授、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻教授を経て、現職。研究分野は基礎看護学。

看護学研究科の概要

修士課程: 看護実践の場で調整力や指導力を発揮できる人材の育成

博士後期課程: 看護実践の場で教育研究能力を発揮できる人材の育成



教員の紹介

生涯発達看護学領域

主として生涯発達の視点での対象および家族を理解し、現代社会において、様々な発達段階にある対象への看護上の課題を見出す看護学領域

成人慢性看護学分野

病いとともに生きることを支える援助を考える！



教授：川端京子
博士(看護学)
腎不全や糖尿病、がん化学療法を受ける患者のための療養生活を支援するための研究を行っています。



准教授：布谷麻耶
博士(看護学)
炎症性腸疾患患者やがん患者など慢性疾患を有する患者の療養生活や治療法の意思決定に焦点を当て、患者のセルフケアやセルフマネジメントを支える看護のあり方を探求しています。

成人急性看護学分野

急性期の患者さんや家族の健康と生活を支援



教授：宮嶋正子
博士(看護学)
主に褥瘡の基礎研究を行っています。褥瘡発生には複数の要因が関与しますので、実験を繰り返しエビデンスを構築し、臨床適用できることをライフワークとしています。また広く急性期やクリティカルにおける諸問題を研究的思考によって探求していきたくと考えています。



准教授：池田七衣
博士(看護学)
アレルギーや感染症・周手術期の患者の保健行動に関する研究をしています。特にストレスやQOLに焦点を当て、主観的・客観的な評価方法を用いて研究をしています。

小児看護学分野

成長発達過程にある子どもとその家族の看護



教授：藤原千恵子
博士(臨床教育学)
育児および病気における子どもと家族のストレス、レジリエンスに関する研究をしています。



准教授：藤田優一
博士(看護学)
子どもへの看護実践や地域で生活する子どもへの支援など、子どもと家族に関する内容について幅広いテーマで研究をしています。



講師：植木慎悟
博士(看護学)
病気を持つ小児の親の不安や不確かさに関する質的・量的調査および尺度開発、アロマセラピーを用いた介入、小児の針刺入時の痛みを軽減する介入について研究しています。

母性看護学分野

性と生殖に関するよりよい健康を目指して



教授：町浦美智子
Ph.D. in Nursing [米国]
女性のやせ志向、親役割取得、更年期症状などの健康課題・問題を中心に女性とその家族のQOLの向上につながる看護支援を探究しています。



准教授：本間裕子
Ph.D. in Nursing [カナダ]
思春期から成人萌芽期の健康・リスク行動の研究をしています。特に影響要因となりうる家庭・学校での人間関係や環境などの社会資源に焦点をあてています。女子大に勤務している強みを生かして、女性の健康促進に向けた実践に取り組んでいます。

広域実践看護学領域

主として制度・施策と看護との関係について理解し、現代社会において、様々な健康状態にある対象への看護上の課題を見出す看護学領域

基礎看護学分野

看護実践の基盤となる看護技術・知識・態度の育成



教授：阿曾洋子
博士(医学)
【看護技術に関するエビデンスの検証】
普段に実施している看護ケアに関して、その看護が患者にどのように影響するのかについて検証します。経験知を理論的に構築していきます。



教授：久米弥寿子
博士(看護学)
看護教育に関して、コミュニケーション技術や看護過程・看護診断過程、電子カルテに関する研究、現任教育の課題や実態に即したサポート体制のあり方の検討等を行っています。



准教授：片山 恵
博士(看護学)
看護技術を用いた対症療法の効果の検証と開発に関する研究をしています。



准教授：清水佐知子
博士(経済学)
限られた資源の下で安全で良質な保健医療サービス、看護ケアサービスをいかに効果的に供給していくか?という課題に対し、現状把握及びシステムづくりに関する研究を行っています。また保健医療政策、保健医療プログラムの医療経済分析を行っています。



講師：田丸朋子
博士(看護学)
看護師の腰痛予防や患者の安楽などの視点を持って、看護技術が看護師や患者にどのような影響を及ぼすのかなどの検証に、主に実験研究で取り組んでいます。

老年看護学分野

高齢者の健康の維持・増進のための看護の基礎を学ぶ



教授：徳重あつ子
博士(看護学)
高齢者の寝たきりや認知症予防のための看護ケアや補完代替療法に関する研究をしています。主に大脳を活性化させる看護ケアという視点での研究を進めています。補完代替療法としては、色彩刺激や回想法について取り組んでいるところです。



講師：杉浦圭子
博士(保健学)
高齢者の社会的孤立予防に着目して、心理的側面、身体的側面から健康高齢者の介護予防に向けたアプローチ方法・ネットワーク構築の検討についての研究をしています。

精神看護学分野

ケアからセルフケアへ共に成長し合える援助関係



教授：寶田 穂
博士(看護学)
質的研究方法で、看護職者への精神的支援やアディクションからの回復支援、慢性の病いにおける「言いづらさ」に関する研究をしています。対話やグループダイナミクスの視点を大切にしています。



准教授：心光世津子
博士(人間科学)
回復・リカバリーの捉え方を切り口として、精神障害者・家族・看護師の視点の相違や、地域生活を基盤とする精神看護実践に関する研究、セルフヘルプ・グループやピアサポートに関する研究をしています。

在宅看護学分野

慣れ親しんだ自宅での療養生活を支える看護



教授：新田紀枝
博士(保健学)
在宅療養者とその家族のQOLの維持・向上、家族の介護負担を軽減する看護支援に関する研究、訪問看護師による看護実践のプロセス、ケア技術に関する研究をしています。



准教授：久山おかる
博士(保健学)
在宅での看取りにおける看護師の役割や地域包括ケアシステムの中の多職種連携に関する研究をしています。



准教授：早川りか
博士(臨床教育学)
支援の難しい問題を抱えた家庭への多職種連携によるサポート体制の構築についての研究や、訪問看護師の困難感、訪問看護活動の支援体制についての研究をしています。

公衆衛生看護学分野

すべての住民の病気の予防、健康の保持・増進への支援



教授：和泉京子
博士(保健学)
健康増進およびQOLの向上に寄与する研究、特に成人期・高齢期の社会経済背景をふまえた生活習慣病予防・介護予防に関する研究に取り組んでいます。健診や医療機関につながらない方へのアウトリーチ活動である家庭訪問を通して支援のあり方を検討しています。



准教授：岩佐真也
博士(保健学)
貧困、低所得と健康格差を切り口に、国際的な視点での保健医療政策についての研究、歴史的文化的背景やそれらに影響を受ける価値観、世界観をふまえた受療行動に関する研究をしています。



修士課程の紹介

「経験知」を「理論知」に進化させる修士課程

育成する人材像

看護学研究コース：実践の場での調整力や指導力を発揮できる人材

看護学研究保健師コース：上記に加え、保健行政への参画力を有する保健師



ディプロマ・ポリシー

卒業認定・学位授与の方針

「育成する人材像」に基づく以下のような能力・資質を備え、課程修了が認定された者に修士の学位を授与します。

1. 専門領域における幅広い専門知識と理解力を身につけている。
2. 看護の臨床現場で生じている課題の解決・改善に向けての研究を実施し、公表できる。
保健師として、複雑困難化している健康問題に対応できる。(保健師コース)
3. 臨床現場で生じている課題を科学的・論理的思考に基づいて解決する方法を見出すことができる。
4. 看護実践、看護教育、看護研究の発展に寄与するように、自らの実践能力を向上していくことができる。
5. 保健医療チームにおけるリーダーとして、メンバーの役割を尊重し、メンバー間の協働や連携を促進することができる。
6. 地域の健康課題を解決する方策を探求し、施策の企画、立案、実施及び評価が行える。(保健師コース)

アドミッション・ポリシー

入学者受入れの方針

ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるために必要な次に掲げる知識や技能、意欲を備えた人を求めます。

1. 本学の理念、本研究科の教育目的・目標を理解し、社会的・国際的な視野にたつて人々の健康と福祉の向上並びに看護学の進展に寄与したいという意思をもつ者
2. 自身の経験知をもとに、自身の問題意識や課題を表現できる者
3. 実践を通して課題を見だし、改善や発展に向けて、研究的視点を持って課題を追究していくことのできる者
4. 自身の考えを明確にしつつも、他者の意見を聞くことができ、柔軟な思考で考えを発展させていくことのできる者
5. 地域住民の健康に関心を持ち、健康課題の明確化とその解決に向けた実践を通して、将来保健師として社会貢献する意欲のある者(保健師コース)



カリキュラム・ポリシー

教育課程編成・実施の方針

修士課程では、経験知を理論知に進化させる学年積み上げ方式の教育の方針に基づき、①論理的思考力、②研究能力、③問題・課題の発見・言語化能力、④広い視野での考えに基づく発想力を育成するカリキュラムを編成し、特別研究、共通教育科目、専門教育科目、公衆衛生看護学科目を配置します。

特別研究

研究の中核となる科目です。自身の研究疑問に基づき、指導教員の研究指導を受けて、研究計画立案からデータの収集、分析等を経て、学位論文としてまとめます。

共通教育科目

【専門基礎科目】

学生自身の問題意識や課題に関して、より広い視点から看護の課題を検討することができます。

【関連科目】

看護学と近接し関連する他研究科・専攻で開講する科目で構成し、豊富な科目の中から疑問を追求するのに関連する幅広い知識を身につけることができます。

専門教育科目

【生涯発達看護学領域】

主として生涯発達の視点で対象および家族を理解し、現代社会において、様々な発達段階にある対象への看護上の課題を見出す看護学領域で開講する総論、特論、演習科目があり、成人慢性看護学分野、成人急性看護学分野、小児看護学分野、母性看護学分野があります。

【広域実践看護学領域】

主として制度・施策と看護との関係について理解し、現代社会において様々な健康状態にある対象への看護上の課題を見出す看護学領域で開講する総論、特論、演習科目があり、基礎看護学分野、老年看護学分野、精神看護学分野、在宅看護学分野、公衆衛生看護学分野があります。

公衆衛生看護学科目

看護学研究保健師コースのみの学生が受講する科目で、保健師国家試験受験資格を取得できます。

看護学研究コース 働きながら学びたいあなたをサポート

- 夜間開講(平日夜間と土曜昼間)^{※1}
- 長期履修学生制度^{※2}
- 社会人特別選抜
- アクセス抜群
- 豊富な看護学分野(ご自身の専門分野で学べます)

※1 履修例…平日夜間に週2日と土曜昼間の計週3日。

※2 職業を有している等の事情で2年間で2年間の修了が困難な学生を対象とした、申請により3～4年かけて学べる制度。授業料は2年分(教育充実費は毎年必要)

※学院内保育ルームあり(有料、要事前申込、1歳程度～10歳まで 7:30～21:30の随時、2.5時間以上の利用から)

看護学研究コースの大学院生の1週間

働きながら学ぶと、1週間の生活はどうなるのでしょうか。ここでは例として、ある学生の1週間の生活の流れを見ていきましょう。

朝から夕方までは病院で勤務。授業は6限(18:10開始)からなので、勤務が終わってからでも間に合います。

授業のある2日間

起床	通勤	勤務	通学	授業	自習	就寝
6:00	8:30	12:00	15:00	18:10	21:20	0:00

夜勤のときももちろんありますが、忙しい時間の合間に自宅で勉強します。

授業のない3日間

起床	通勤	勤務	帰宅	自習	就寝	
6:00	8:30	12:00	15:00	18:00	21:00	0:00

土曜日は1限(9:00開始)から5限(18:00終了)までしっかりと授業を受けます。授業の後は自習室で予習・復習ができます。

土曜日

起床	通学	授業	自習	自由時間	就寝	
6:00	9:00	12:00	15:00	18:00	21:00	0:00

休日…予習や復習に、リラックスタイムに、学習状況や体調など状況に応じた過ごし方を。

※看護学研究保健師コースの場合は、日中にも授業が入ります。

大学院生からのメッセージ

工藤 大祐 基礎看護学

病院で看護師として働きながら修士課程を修了し、博士後期課程に進学しました。修士課程では、授業で学んだ理論や知識を臨床現場で活用し実践することで、学びがより深まりました。また、臨床現場の疑問を研究テーマとして、臨床の人たちと研究に取り組むことで、臨床現場へ研究成果を還元することもできました。今後も、臨床で看護師として働きながら、博士後期課程で研究を進めていきます。



修了生からのメッセージ

桧山 美恵子 老年看護学

修士課程を修了後、2019年4月から武庫川女子大学の教員として働くことになりました。修士課程では看護教員や研究者としての基盤を身につけることができました。授業でのディスカッションや研究指導を受ける中で、教育における関係性や安心感の重要性についても学びました。それらは、教員としてやっていく大きな自信につながりました。これからは、看護の魅力を伝えていける教員を目指して、頑張っていきたいと思っています。



看護学研究保健師コース 保健師として活躍したいあなたをアシスト

- 保健師国家試験受験資格取得
- 看護学研究コースの教育課程に保健師の教育課程を加えた充実したカリキュラムを昼夜開講で実施
- 看護職として培った能力を礎にした実践力を養う教育

看護学研究保健師コースの大学院生の1週間

授業のない時間は、予習・復習など自習に励んでいます。

日中に授業のある日

起床	通学	授業	自習	昼食	授業	自習	自由時間	就寝
6:00	9:00	12:00	13:05	15:00	18:00	20:00		0:00

午後からの授業にむけて自習時間を有効活用しています。

日中・夜間に授業のある日

起床	自習	昼食	授業	自習	授業	就寝		
6:00	9:00	12:00	13:05	15:00	16:30	18:00	21:20	0:00

授業のない平日

予習・復習を自分のペースですすめます。

土曜日

※土曜日は看護学研究コースと同じです。

休日…予習や復習に、リラックスタイムに、学習状況や体調など状況に応じた過ごし方を。

修了生からのメッセージ

乙津 絵里佳 公衆衛生看護学

大学院では、ディスカッションを通して学びを深める機会が多くあり、相手の意見を尊重し自発的に自分の意見を述べる姿勢が身につきました。保健師コースでは、講義・演習・実習が連動して展開されており、机上での学びから実践への学びへとプロセスを踏みながら着実に力をつけることができました。実習は、1年を通じた継続家庭訪問や乳幼児健康診査、高齢者の憩いの場への参加など、とても充実していました。それらの経験をもとに、修士論文では、生活習慣病に着目し、若年期からの生活習慣病予防のアプローチを検討し、その結果を保健所や住民の方々に還元させていただきました。現在は、大学院での学びを基盤として、産業保健の分野で保健師として活動しています。



博士後期課程の紹介

理論知に裏付けられた経験知から新たな理論知の創生を目指す博士後期課程

育成する人材像

臨床現場や教育機関など、看護実践の場で教育研究能力を発揮することができる人材

ディプロマ・ポリシー 卒業認定・学位授与の方針

「育成する人材像」に基づく以下のような能力・資質を備え、課程修了が認定された者に博士の学位を授与します。

1. 社会の変化に対応した看護を推進するために、経験知から新たな理論知を創生し、看護実践と研究の連続的なスパイラルの中で思考・実践できる研究能力を有する。
現任教育や看護学実習教育を担うことのできる教育研究能力を有する。
2. 看護学の発展に貢献するために、研究結果を学術集会や社会活動に発信し、それらの成果を実践の場に伝えることができる発信力と教育能力を身に付けている。
3. 社会の変化に対応した看護を推進するために、経験知から新たな理論知を創生し、看護実践、看護教育と研究の連続的なスパイラルの中で思考に基づいて解決する方法を見出すことができる。
4. より幅広い視野で見識を深め、統合力・連携力・創造力と看護職のアイデンティティを基盤として、教育研究活動を個人の志向により自立して実践することができる。

アドミッション・ポリシー 入学者受入れの方針

ディプロマ・ポリシーをふまえ、次のような資質を有する意欲ある人材を幅広く求めています。

1. 経験知を理論知に進化させ、理論知を実践に活用・発展させていくことのできる論理的思考を身に付けた人
2. 看護実践の場での課題を見だし、研究活動を継続していくことのできる基礎的能力を有する人
3. 看護実践の場での調整力や指導力を発揮し、看護実践及び教育活動ができる能力を有する人
4. 看護実践及び教育での活動を通して、看護学の発展に寄与できる能力を有する人



カリキュラム・ポリシー 教育課程編成・実施の方針

博士後期課程では、特別研究・共通教育科目・専門教育科目の3つの科目区分とし、論理的な思考を熟練させ、個々が抱いていた問題や課題を追求してエビデンスや理論を検証し、創生することによって新たな理論知を創り出し、それを社会に発信できる統合力・連携力・創造力を育成することができる教育課程を編成します。



特別研究

看護実践やフィールドワークを継続しながら、文献検討や調査等を行い、共通教育科目および専門教育科目での学びを統合し、個々の問題意識に基づいた研究疑問を明確にして疑問に応じた研究方法を検討し、研究計画立案にはじまる研究活動を積み重ね博士論文にまとめ上げます。さらに、それらを社会に発信できるまでの能力の育成を学年積み上げ方式によってめざします。

共通教育科目

実践に基づいて理論を探求し構築していくという連続的なスパイラルの中での思考を発展させる基盤となる科目で編成しています。

- ・必修科目：看護エビデンス特論、看護理論探求特論
- ・選択科目：看護研究倫理特論、社会連携看護ケア特論、国際看護情勢特論

専門教育科目

看護学の様々な課題についての実際の研究事例からの学びをもとに、研究に関する多様な知識を得ることで視野を広げるとともに、看護学教育研究者としての自身の立つ位置を明確にし今後取り組む研究におけるエビデンスや理論知を創生するの意義や独自性・創造性の探求につながる科目です。

- 選択科目：生涯発達看護学特講、広域実践看護学特講

充実した学習環境

施設面



セミナー室

少人数で行う講義やグループディスカッションで使用します。目的に応じて、自由に机やイスの配置を変えることができるので、アクティブな学習が可能です。



大学院生自習室

広い机に、自由に使えるパソコンが配置されています。講義の合間や前後の予習・復習で利用することができます。



図書館利用

大学の中央図書館、薬学分館、甲子園会館分室が利用でき、豊富な文献を読むことができます。



学院内保育ルーム (ラビークラブ)

学院内に保育ルームを完備しています。有料で事前申込制、1歳から10歳まで預かり可能で、7:30～21:30の間の2.5時間以上の利用から受け付けています。

学生支援

- 活動の支援として図書・物品購入等の研究補助
- 学会活動支援制度：国内外学会発表・参加に関わる旅費・参加費の一部を支援
- 奨学金制度

大学院で学ぶ Q&A

Q: 専門学校卒業ですが、大学院修士課程に進学できますか?

A: 専門学校を卒業後、看護職として一定の実務経験を有する方であれば受験が可能です。入学試験を受ける前に、個別の入学資格審査※を受けてください。(詳細は学生募集要項をご覧ください)

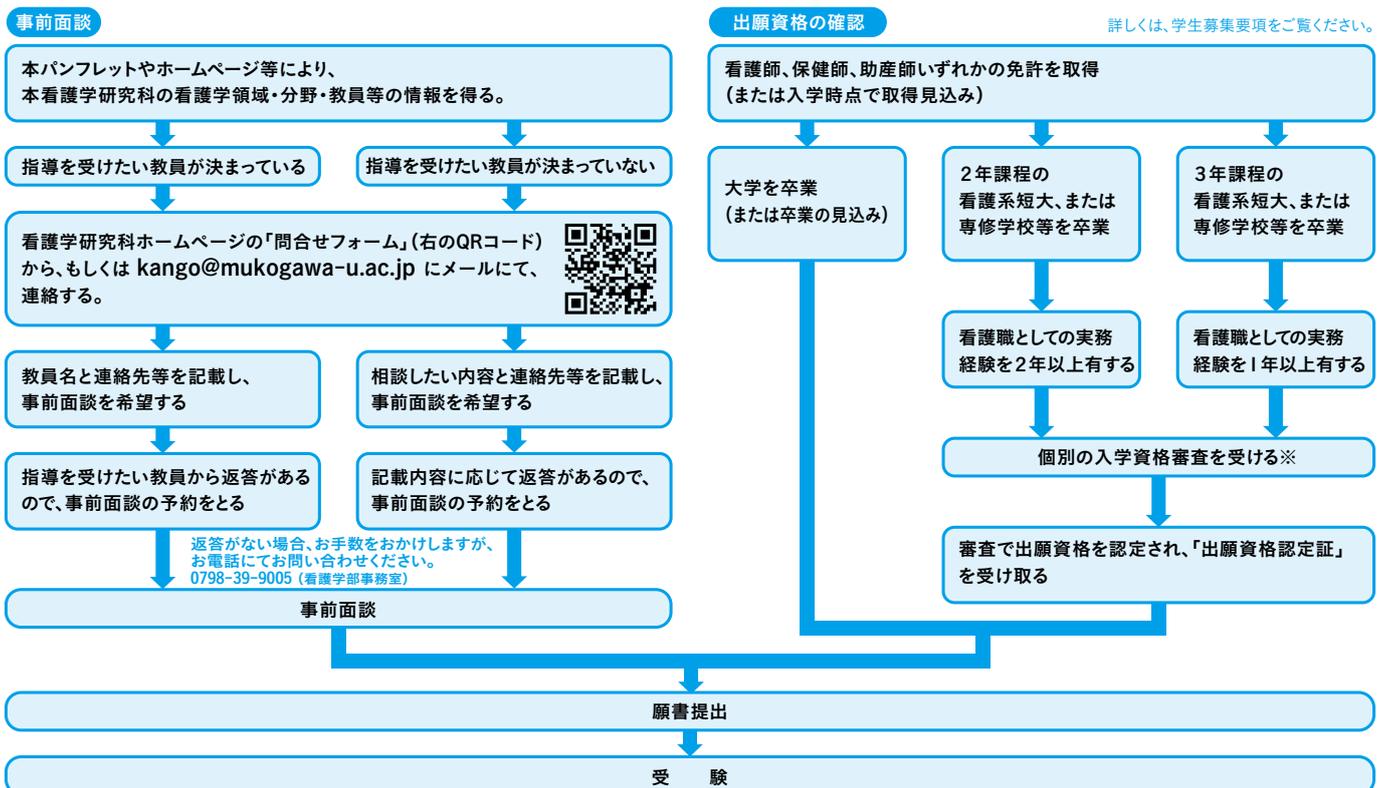
Q: まだ受験するかどうか決まっていません。受験を考えるにあたって教員に相談することはできるのでしょうか?

A: 受験前の事前面談でなくても、受験を考えるにあたっての事前相談にも応じています。下の受験までの流れを参考に、ご連絡ください。

Q: 子どもがいるので、授業に参加している時間、学院内保育ルームは利用できますか?

A: 事前のお申し込みで、1歳程度～10歳までのお子様を21:30までお預かりします(有料)。修了生の中には、学院内保育ルーム(ラビークラブ)を利用して授業を受けた方がいました。(詳細は看護学部事務室にお問い合わせください)

受験までの流れ



2020年度学生募集概要

	修士課程(修士)		博士後期課程(博士)
	看護学研究コース	看護学研究保健師コース	看護学専攻
学位・資格	修士(看護学)	修士(看護学) 保健師国家試験受験資格	博士(看護学)
標準修業年限	2年	2年	3年
長期履修学生制度	長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの事情で、通常の修業年限で修了することが困難な方のための制度です。この制度を利用し、標準の修業年数を超えて学び、学位を取得することが可能になります。ただし、この制度を利用する場合、本人の申請に基づき審査を受け、承認される必要があります。詳細については学生募集要項をご参照ください。		
募集人員	12名(うち、看護学研究保健師コース4名程度)		3名
出願資格 (抜粋のため、詳細は学生募集要項でご確認ください)	入学時点で看護師、保健師、助産師のいずれかの免許を取得している方で、 ①大学を卒業している方および、2020年3月31日までに卒業見込みの方 ②3年課程の看護系短期大学または専修学校等を卒業した方で1年以上看護職としての実務経験を有する方。(個別の入学資格審査対象者)		保健師、助産師、または看護師の免許を有し、入学時点で修士の学位あるいは専門職学位を有する方、または2020年3月31日までに取得見込みの方。
入試日	前期募集:2019年10月 5日(土) 後期募集:2020年 2月15日(土)	推薦入試:2019年 6月15日(土) 前期募集:2019年10月 5日(土) 後期募集:推薦入試と前期募集で定員を充足しなかった場合に実施します。 2020年2月15日(土)	前期募集:2019年10月 5日(土) 後期募集:2020年 2月15日(土)
選抜方法	■一般選抜 ・面接 ・筆記試験(専門科目*:50点、英語:50点) ■社会人特別選抜 ・面接 ・筆記試験(専門科目*:50点、英語:25点) ・書類審査「看護職経験等説明書」(25点) ※専門科目:看護学の基礎的学力を問う問題	■一般選抜 ・面接 ・筆記試験(専門科目*:50点、英語:50点) ■社会人特別選抜 ・面接 ・筆記試験(専門科目*:50点、英語:25点) ・書類審査「看護職経験等説明書」(25点) ■推薦入試 ・武庫川女子大学看護学部を卒業見込みの者を対象に実施する。	■一般選抜 ・口述試験(100点) ・筆記試験(英語:50点) ■社会人特別選抜 ・口述試験(100点) ・筆記試験(英語:25点) ・書類審査「看護実践活動調書」(25点)
学納金	入 学 金:28万円 (2019年度入学生分:参考) 授 業 料:80万円 教育充実費:20万円 実験実習費:16,000円(看護学研究保健師コースのみ)		入 学 金:28万円 授 業 料:70万円 教育充実費:20万円
学生支援	・活動の支援として図書・物品購入等の研究補助 ・学会活動支援制度:国内外学会発表・参加に関わる旅費・参加費の一部を支援 ・奨学金制度		

*詳細は「2020年度武庫川女子大学大学院 大学院要覧・学生募集要項」または看護学研究科HPをご覧ください。

Access

*下記アクセス方法・時間は一例です。曜日や時間帯によって異なりますので、十分注意してください。



武庫川女子大学
武庫川女子大学大学院
 看護学研究科 看護学専攻
 修士課程・博士後期課程

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46
 TEL.0798-39-9005(看護学部事務室)
 TEL.0798-45-3500(入試センター直通)

看護学研究科ホームページ
<http://www.mukogawa-u.ac.jp/~kango/>

